



令和4年度

決算



令和4年度決算状況をお知らせします
皆さんに納めていただいた市税などが、どのように使われたか、市の財政がどのような状況であるかについてお知らせします。

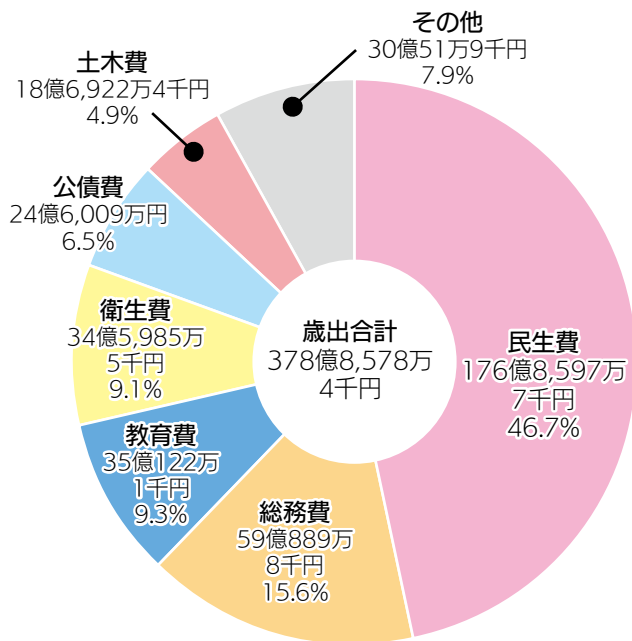
問 財政課

一般会計
さい しゅつ
歳出

378億8,578万4千円

歳出全体としては、前年度比3億4,425万5千円(0.9%)の減少となりました。

昨年度実施した子育て世帯への臨時特別給付金支給事業の減が主な要因です。



用語の解説

- 民生費
子どもや高齢者、障がい者など福祉の費用
- 総務費
行政の運営や戸籍、税金徴収などの費用
- 教育費
教育や文化、スポーツなどの費用
- 衛生費
健康診断や予防接種、ごみ処理などの費用
- 公債費
市の借金の返済などの費用
- 土木費
道路や公園などの補修や建設などの費用
- その他
議会や農・商工業、消防、災害復旧などの費用

基金

市全体の貯金は4年連続増加

基金は、自治体の貯金のことです。

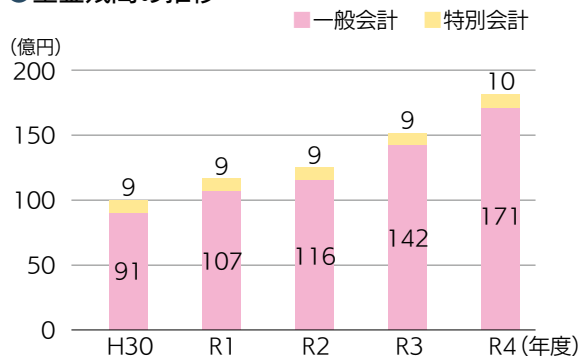
令和4年度は、財政調整基金や公共施設等整備基金などに積み立てを行ったことにより、基金の残高が約30億円増加しました。

今後も、計画的な積み立て・取り崩しに努めていきます。

●令和4年度末残高

一般会計 170億6,592万3千円
特別会計 9億8,608万7千円

●基金残高の推移



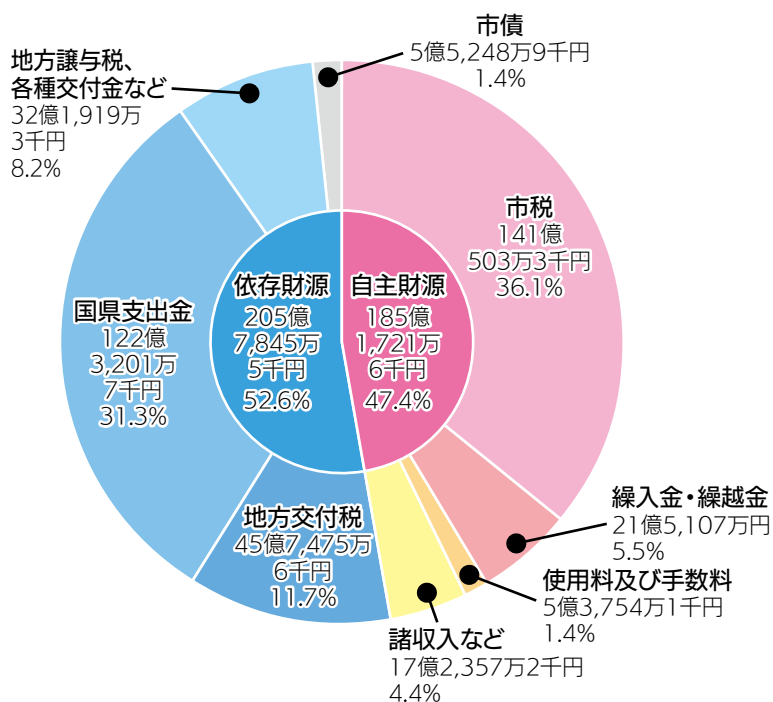


一般会計 歳入

390億9,567万1千円

歳入全体としては、前年度比9億8,456万8千円(2.5%)の減少となりました。

子育て世帯への臨時特別給付金支給事業に関する国庫支出金の減が主な要因です。



用語の解説

自主財源

- 市が自主的に調達できるお金
- 市税 市民税や固定資産税など
 - 繰入金・繰越金 基金からの繰入金や前年度からの繰越金など
 - 使用料及び手数料 市営住宅の家賃や公共施設の使用料など
 - 諸収入など 発掘調査受託事業収入や各種教室の受講料など

依存財源

- 国や県からの交付金や銀行からの借入金
- 地方交付税 全国どこでも必要最小限の行政サービスが受けられるよう国が交付するお金
 - 国庫支出金 特定の事業のために国や県が交付するお金
 - 地方譲与税、各種交付金など 国や県が徴収した税金の一部を市に分配するお金
 - 市債 大きな事業を行うための銀行などからの借入金

地方債

市全体の借金は約24億円減少

地方債は、自治体の借金のことです。

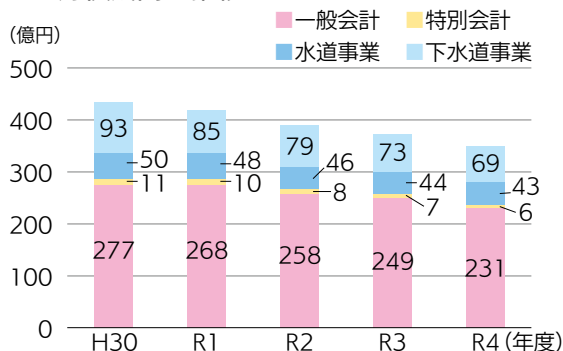
令和4年度は、前年度に引き続き、計画的な借入を行ったことにより、市全体の地方債の残高が約24億円減少しました。

今後も計画的な借入・償還に努めていきます。

令和4年度末残高

一般会計	230億5,290万6千円
特別会計	5億8,733万1千円
水道事業	42億5,042万7千円
下水道事業	68億8,514万8千円

地方債残高の推移





指標から見る筑紫野市の状況

健全化判断比率・資金不足比率

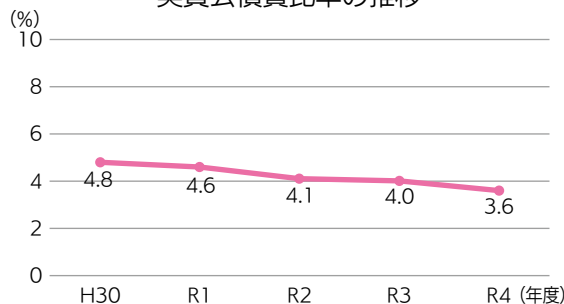
自治体の財政状況を客観的に表し、財政の健全化や再生の必要性を判断する指標です。

本市の比率は国の定める基準を大幅に下回っており、前年度に引き続き健全であるという結果となっています。

令和4年度の実質公債費比率は、市債の計画的な償還を行ったことで、前年度より0.4ポイント改善しました。

令和4年度は **3.6%** (前年度4.0%)

実質公債費比率の推移



※実質赤字比率、連結実質赤字比率、将来負担比率、資金不足比率は、いずれも比率が生じておらず、健全な状態です。

財政力指数

地方税など自治体の標準的な収入で合理的に行政運営を行った場合にどこまで必要経費が賄えるかを測定する指標です。この指標は「1」に近く「1」を超えるほど財源に余裕があるとされています。

令和4年度は、前年度より0.015ポイント減少しました。

令和4年度は **0.764** (前年度0.779)

財政力指数の推移



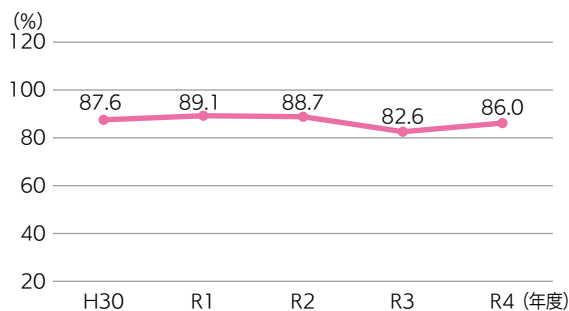
経常収支比率

毎年決まって入ってくるお金(地方税、地方消費税交付金など)が、毎年決まって出ていくお金(人件費、借金の返済など)に、どの程度充てられているかを示す指標です。この比率が低いほど財政構造が弾力性に富んでいるとされています。

令和4年度は、経常的な扶助費や物件費の増などにより前年度より3.4ポイント増加しました。

令和4年度は **86.0%** (前年度82.6%)

経常収支比率の推移





とくべつかいけい こうえいきぎょうかいけい けっさんしゅうし じょうきょう 特別会計・公営企業会計の決算収支の状況

主な特別会計決算収支

国民健康保険などの事業は、保険料など特定の収入によって行うため、一般会計とは別に会計を設けています。

会計名	歳入決算額	歳出決算額
国民健康保険事業	98億6,335万8千円	97億7,670万1千円
住宅新築資金等貸付事業	2,212万9千円	6万7千円
奨学資金貸与事業	800万2千円	489万6千円
介護保険事業	72億4,419万5千円	70億9,895万5千円
後期高齢者医療事業	26億5,740万8千円	26億914万8千円
筑紫地区介護認定審査会事業	6,845万5千円	6,845万5千円
農業集落排水事業	2億486万3千円	2億486万3千円

公営企業会計決算収支

地方公営企業法の適用を受け、公営企業会計による独立採算制をとっています。

(消費税等込み)

会計名	収入決算額	支出決算額	
水道事業	収益的収支	21億253万5千円	18億8,656万7千円
	資本的収支	3億1,625万4千円	8億9,260万円
下水道事業	収益的収支	23億9,458万5千円	20億7,232万円
	資本的収支	6億3,359万8千円	10億9,946万8千円

令和5年度上半期 筑紫野市の財政運営の状況をお知らせします

市では、市民の皆さんが納めた税金の使い道や、市の財政がどのようになっているかを公表しています。今回は、令和5年度の上半期(9月30日現在)の歳入歳出予算の執行状況を紹介します。

会計名	予算現額(A)	収入済額(B)	収入率(B/A×100)	支出済額(C)	執行率(C/A×100)
一般会計	374億8,866万1千円	176億9,609万6千円	47.2%	132億6,234万8千円	35.4%
国民健康保険事業	101億6,722万3千円	39億9,137万5千円	39.3%	37億998万6千円	36.5%
住宅新築資金等貸付事業	220万6千円	2,341万1千円	1061.2%	0円	0.0%
奨学資金貸与事業	705万1千円	523万9千円	74.3%	337万1千円	47.8%
介護保険事業	73億9,707万円	29億9,148万8千円	40.4%	30億7,388万円	41.6%
後期高齢者医療事業	28億6,341万4千円	6億64万3千円	21.0%	12億6,575万6千円	44.2%
農業集落排水事業	1億9,944万5千円	1,478万3千円	7.4%	6,409万7千円	32.1%
二日市財産区	292万1千円	207万1千円	70.9%	6万7千円	2.3%
御笠財産区	295万3千円	78万9千円	26.7%	5万円	1.7%
平等寺山財産区	5,558万7千円	85万9千円	1.5%	5万円	0.1%
合計	581億8,653万1千円	253億2,675万3千円	43.5%	213億7,960万6千円	36.7%

(※表示単位未満を四捨五入しているため、合計が一致しないことがあります。)

- 市民の税負担状況
令和5年9月30日現在の人口 106,578人
- 市民一人あたりの市税負担額 73,383円
(市税収入済額78億2,098万9千円に対する額)
- 財産の現在高
 - ・土地 332万9,749㎡(令和5年3月31日現在)
 - ・建物 23万9,607㎡(令和5年3月31日現在)
 - ・基金 180億5,500万3千円(令和5年9月30日現在)
- 市債及び一時借入金の現在高
 - ・一般会計 215億1,599万円(令和5年度末見込)
 - ・特別会計 4億8,636万8千円(令和5年度末見込)
 - ・一時借入金(全会計) 0円(令和5年9月30日現在)
- 詳しい内容は、市ホームページに掲載しています。





実施した主な事業

●防犯カメラ整備事業 2,104千円

犯罪を抑止する目的で防犯カメラを1カ所追加設置し、市民が安全で安心して暮らせるまちづくりを推進しました。



▲天拝坂区に整備した防犯カメラ

●地図情報公開システム導入事業 15,476千円

庁舎の混雑緩和と市民の利便性向上のため、地図情報公開システムを整備し、市が公開している地図情報4種類をインターネット上で閲覧可能としました。



▲地図情報公開システムは市ホームページから



▲山家コミュニティ運営協議会などによる山家宿まつり

●コミュニティ運営協議会補助事業 50,306千円

コミュニティ運営協議会の運営および活動を支援するための補助を行いました。市制施行50周年にあわせてさまざまな事業が実施されました。

●地域密着型施設等整備補助事業 2,420千円

地域の実情に応じた介護サービス提供体制の構築のため、地域密着型サービスの改修に対して支援を行いました。



▲支援により設営された介護施設の面会室

●児童福祉施設整備事業 56,000千円

定員の更なる拡充を図るため、小規模保育事業所2カ所の整備に係る補助を行いました。



▲整備補助を行った保育事業所

●新型コロナウイルスワクチン接種事業 417,464千円

新型コロナウイルス感染症のリスク軽減のためのワクチン接種を実施しました。



▲ワクチン接種事業は継続して行っています



●省エネ家電導入促進事業

24,693千円

省エネ性能に優れた家電製品を市内店舗で買い替えた市民などに対して助成金を支給しました。

●地域活性化商品券補助事業

30,000千円

筑紫野市の消費拡大、地域経済の活性化に寄与するため、筑紫野市商工会が発行するプレミアム付き商品券のプレミアム分などに対し補助を行いました。

●観光事業者緊急支援事業

24,869千円

新型コロナウイルス感染症により、経営への影響を受けた観光関連事業者に対して支援を行いました。



▲商品券で家計と地域経済を支援



▲市内観光地の湯町の温泉街



▲新しく開設したJR二日市駅西側乗降口

●JR二日市駅地区整備事業

339,795千円

JR二日市駅西側乗降口および駅前広場の整備が完了し、駅西側からのアクセスが可能となり、駅利用者の利便性が向上しました。



▲子どもたちに本と触れ合う機会を

●児童・生徒への図書カード支給事業

127,355千円

子どもの読書離れを予防し家庭学習を促進するため、市内の小、中、高校生などに図書カードを支給しました。

●小中学校トイレ改修事業

345,666千円

小学校8校、中学校1校の校舎のトイレの床および便器の改修を行い、トイレの洋式化やバリアフリー化を図りました。



▲改修した山口小学校のトイレ

●図書館電子書籍導入事業

5,154千円

読者バリアフリーを推進し、いつでもどこでも誰でも読書を楽しめるよう、新たに「筑紫野市電子図書館」を始めました。



▲スマホなどから電子書籍が利用できます